日本語教員養成課程

①　日本語教員養成課程について

本学では、文学部文学科に、外国人に対する日本語教育のための日本語教員養成課程を設けている。この課程は、日本語教員となるために最低限必要な知識・能力を習得することを目的としている。

本課程の履修を希望する学生は、必要単位を 1 年次より計画的に履修し、4 年次 4 月に「日本語教員養成課程履修登録」を教務部に提出する。下表の条件を満たした学生には、本学で発行する「日本語教員養成課程単位修得証明書」が与えられる。なお、本課程のカリキュラムは、「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改定版」（文化庁, 平成 31 年）に対応している。

※「日本語教育実習」履修者は、実習費が別途掛かる場合がある。

②　修得すべき単位

29 単位すべてを修得すること。

Ⅰ.【日本語教員養成課程科目】　　（※）単位数の括弧数字（　）は他区分と共通科目

領域	区分		教育内容	科目	本学で習得すべき単位数
社会・文化・地域に係る領域	社会・文化・地域	① 世界と日本	(1) 世界と日本の社会と文化	日本語教育学Ⅱ	2
		② 異文化接触	(2) 日本の在留外国人施策		
			(3) 多文化共生（地域社会における共生）		
		③ 日本語教育の歴史と現状	(4) 日本語教育史		
			(5) 言語政策		
			(6) 日本語の試験		
			(7) 世界と日本の日本語教育事情		
	言語と社会	④ 言語と社会の関係	(8) 社会言語学	社会言語学Ⅰ 社会言語学Ⅱ 日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ 日本語教育学Ⅱ	2 2 2 2 （2）
			(9) 言語政策とことば		
		⑤ 言語使用と社会	(10) ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾄﾗﾃｼﾞｰ		
			(11) 待遇・敬意表現		
			(12) 言語・非言語行動		
		⑥ 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと社会	(13) 多言語・多文化主義		
教育に関わる領域	言語と心理	⑦ 言語理解の課程	(14) 談話理解	学習・言語心理学 言語習得研究Ⅰ 心理学概論Ｂ 日本語教育学Ⅱ	2 2 2 （2）
			(15) 言語学習		
		⑧ 言語習得・発達	(16) 習得過程（第一言語・第二言語）		
			(17) 学習ストラテジー		
		⑨ 異文化理解と心理	(18) 異文化受容・適応		
			(19) 日本語の学習・教育の情意的側面		
	言語と教育	⑩ 言語教育法・実習	(20) 日本語教師の資質・能力	日本語教育学Ⅰ 日本語教育学Ⅱ 日本語教授法 日本語教育実習	2 （2） 2 1
			(21) 日本語教育プログラムの理解と実践		
			(22) 教室・言語環境の設定		
			(23) コースデザイン		
			(24) 教授法		
			(25) 教材分析・作成・開発		
			(26) 評価法		
			(27) 授業計画		
			(28) 教育実習		
			(29) 中間言語分析		
			(30) 授業分析・自己点検能力		
			(31) 目的・対象別日本語教育法		
		⑪ 異文化間教育とｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ教育	(32) 異文化間教育		
			(33) 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ		
			(34) ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ教育		
		⑫ 言語教育と情報	(35) 日本語教育と ICT		
			(36) 著作権		
言語に関わる領域	言語	⑬ 言語の構造一般	(37) 一般言語学	日本語学概説Ⅰ 日本語学概説Ⅱ 日本語文法Ⅰ	2 2 2
			(38) 対照言語学		
		⑭ 日本語の構造	(39) 日本語教育のための日本語分析		
			(40) 日本語教育のための音韻・音声体系		
			(41) 日本語教育のための文字と表記		
			(42) 日本語教育のための形態・語彙体系		
			(43) 日本語教育のための文法体系		
			(44) 日本語教育のための意味体系		
			(45) 日本語教育のための語用論的規範		
		⑮ 言語研究			
		⑯ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力	(46) 受容・理解能力	Japanese Culture through English	2
			(47) 言語運用能力		
			(48) 社会文化能力		
			(49) 対人関係能力		
			(50) 異文化調整能力		
計					２９